

競技注意事項

1. 本大会は、2018年度(財)日本陸上競技連盟競技規則、本大会要項及び監督会申し合わせ事項により行う。
 ※ スタート方法：スターターの合図は、英語とする。（「オン・ユア・マークス」、「セット」）

2. 招集について

- (1) 招集時間は、次のとおりとする。（招集完了時の点呼は、本人が行うこと。）

競技種目	100・200・400m・ハードル・リレー	800m	1500・3000m	招集開始時間	招集完了時間
トラック競技	1～4組	1～3組	1組	競技開始30分前	競技開始15分前
	5～7組	4～6組	2組	競技開始20分前	競技開始05分前
フィールド競技				競技開始55分前	競技開始40分前

- (2) 選手は、招集完了時間 5 分前までには選手招集所付近で待機し、競技役員の点呼を受ける。
 (3) 招集時刻に遅れた競技者は、棄権とみなして出場を認めない。但し、他競技種目に出場中の競技者は、最終コールを代理人が申し出ること。
 (4) 2 種目を同時にかねて出場する競技者は、その旨を本人または代理人が招集時に競技者係に申し出ること。
 (5) リレーに出場するチームは、オーダー用紙を招集完了時間の 60 分前（競技開始の 75 分前）までに競技者係（招集所）に提出すること。オーダー用紙は招集場所で係が配布する。
 (6) 招集場所は、陸上競技場スタート地点側（用器具倉庫）に設置する。

3. 組み合わせ・走路・試技順

- (1) トラック競技の決勝とフィールド競技の試技順は、本大会本部の抽選により決定する。
 (2) タイムレースの結果、上位 8 名を決勝進出者とする。ただし 1000 分の 1 秒まで計測し、同タイムの場合は抽選により決定とする。
 (3) 800m 決勝は、第 2 コーナーまでセパレートレーンで行う。

4. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

夏季大会		種別	練習	試合					
走高跳	男子	共通	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	以降3cmずつ
	女子	共通	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	以降3cmずつ
棒高跳		共通	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	以降10cmずつ
秋季大会		種別	練習	試合					
走高跳	男子	共通	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以降3cmずつ
	女子	共通	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	以降3cmずつ
棒高跳		共通	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	以降10cmずつ

※バーの上げ方は、天候等特別な状況が生じた場合、審判長の判断で変更することもある。

5. ハードル競技のインターバルについて

性別	種目距離	ハードルの高さ	インターバル			ハードル台数
			スタートから1台目	ハードル間	最終ハードルからゴール	
男子	110mH	91.4cm	13.72m	9.14m	14.02m	10台
	100mH	84.0cm	13.00m	8.50m	10.50m	10台
女子	100mH	76.2cm	13.00m	8.00m	15.00m	10台
	80mH	76.2cm	12.00m	7.50m	15.50m	8台

6. その他

- (1) 競技場は、全天候競技場であるので、スパイクピンの長さは 9mm 以下の平行ピンを使用すること。フィールドは、12mm 以下とする。
 (2) 大会当日の練習は、第 2 陸上競技場、投てき練習場で行うこと。（詳細は監督会議で説明する。）
 (3) フィールド競技は最終コールをしたのち競技場内で練習する時間を設ける。
 (4) ナンバーカードは県中体連専門部より通知された番号を使用する。（文字の色は男子は黒、女子は赤とする。）
 (5) リレーのユニフォームはチームで統一すること。体育着でも可。
 (6) 競技会終了後、閉会式を行う。